

## 高齡社会テーマに討論 財総研・来月6日

財務省財務総合政策研究所(財総研)とアジア開発銀行研究所(東京都千代田区)は3月6日、国際コンファレンス「高齡社会における財政健全性を維持するための戦略 財政健全性と社会保障制度をどのようにバランスさせるのか」(協賛・東京大高齡社会総合研究機構、毎日新聞社)を東京・霞が関のアジア開発銀行研究所で開催する。

高齡化が進む多くの国々では、社会保障費が増えて財政の持続性に課題を抱えている。会議では欧州、米国、日本、アジアの4地域別に、社会保障の財源確保のあり方や政府と民間の役割分担などをテーマに討論する。

海外からは、米ブルッキングス研究所シニアフェローのヘンリー・J・アイロン氏や、スウェーデン出身の経済協力開発機構(OECD)シニアエコノミスト、ヘンリック・ブラコニエ氏らが出席。各国の財政や福祉の実情を踏まえて講演。国内からは、世代間格差の問題に詳しい小黒一正・法政大准教授らが参加する。

参加は無料。詳細や申し込みは財総研のホームページ(<http://www.inof.go.jp/prl/research/seminar/annai20140306.htm>)を参照。